

新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査(コホート調査)における

医療従事者の入院率調査へのご協力のお願い

(先行接種に参加されない方へ)

本コホート調査の目的

新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査(コホート調査)は、医療従事者を対象として新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)ワクチン先行接種実施病院で、調査に同意をいただいた方を対象とした前向き観察研究(コホート調査)です。接種後の安全性(接種開始から7-8週までの体温、接種部位反応、全身反応(健康観察日誌)に加えて、副反応疑い、重篤な有害事象(因果関係問わず))に関する情報を収集し、厚生労働省を通じていち早く周知することを目的としています。

この調査は、国立病院機構病院(NHO)、地域医療機能推進機構病院(JCHO)、および労働者健康安全機構病院(JOHAS,労災病院)の100施設で実施されます。当院もその1つです。

医療従事者の入院率調査の目的

2009年の新型インフルエンザパンデミックの際に実施した新型インフルエンザワクチンに関する安全性研究でも接種した人だけでなく同時期に接種しなかった人の入院率を調査、比較しております。そのため、今回も、本調査の一環として接種しなかった医療従事者の入院率についても調査いたします。具体的には、調査期間における対象医療機関の職員数と調査対象ワクチン接種を問わずワクチン接種対象期間に入院した職員数を健康保険および労災保険のデータ(診療報酬請求データ等)から把握させていただき、このワクチン接種が入院などの重篤な有害事象の誘因になったか否かについて判断する参考資料にする予定です。今回利用させていただく予定のデータは、2021年2月から本研究が終了する2022年3月までのうち、当院における上記先行接種での調査対象ワクチンの接種開始から2回目接種4週間までの期間です。この調査にあたって新たに検査を行うなど、職員の皆様に新たに負担が発生することはありません。また、年齢・性別なども含めて個人情報については収集いたしません。

これらの調査についてご質問等がある場合は、当院の研究担当者、もしくは連絡窓口までいつでもご質問ください。また、ご自身の情報を調査研究に利用することについてご了承いただけない場合には、以下の代表連絡窓口までお伝えください。なお、その場合においても、職員の方への不利益が生じることは全くございませんのでご安心ください。

令和3年2月

本調査の当院研究責任者 臨床研究部長 川中 博文

代表研究者 順天堂大学医学部 客員教授 伊藤澄信

Email: covidvac@juntendo.ac.jp